

月刊
八雲シンフォニー
新聞

NO.14

2015.11.12 発行

今、シンフォニーで販売している商品を紹介いたします。
バザーでお馴染みのあの商品や今回初販売の商品、今後皆さんに
販売できるであろう商品もご紹介！

シンフォニー商品紹介！！

作業室



革細工 小銭入れ



刺し子ふきん

喫茶



人参ケーキ



ミルクプリン

ドックパン

～お知らせ～

12月25日(金) 11:30~13:30

クリスマス昼食会 参加費1,000円

※一般の町民の方対象で、シンフォニーをより一層知ってもらう為、ゲームや歌を通し利用者と交流して頂こうと思います。

参加される方は、シンフォニーでチケットを販売していますのでご購入下さい。

皆様のご参加お待ちしております。

その他、毎週火曜日に手打ち蕎麦をやっています。

また、軽食喫茶もやっているのぜひお越し下さい！

養護学校や高校に行つて販売しています。バザーの時もたまに販売中です。

焼きそばパン	150円
ウィンナーパン	180円
たまごサンド	150円
カツサンド	180円

編集室から

北海道特有の冬の使者「雪虫」

これはアブラ虫の一種と知って驚きが隠せない。

ヒラヒラと本当に雪が舞っているかのような錯覚

に陥るが、服に付くとなかなか取れないのが難点。

一度服や木に付いてしまうとその生涯を閉じてしまう何とも悲しい定めだと思う。

(山岸)

八雲シンフォニーでは、平日に毎日利用メンバーで作業の事や、その日起こった事をブログに書いて更新しています。

是非、八雲シンフォニーのブログをチェック！！



カチッ

八雲シンフォニー ブログ

検索



ひと道南

市民団体「札幌く人家的」が毎年発行するカレンダーの来年度、八雲町のつるの作家とともに初めて原画を担当した。魚鉛筆やフェルトペンで描かれた一枚のイラストは個性が鮮やかな印象を



札幌の市民団体のカレンダー原画を描いた

吉田 吉太

和寿さん(19)

楽しんでます (井野博雄)

伝える。 語る。 「未来のイメージだが、自分の世界観が出ています。最初は『宿の絵カレンダー』になって、『この思いま』を聞いた。素朴な絵が複したと、原画提供の依頼を受けたときの正直な気持ちを進化した。『周りが自由に描かされた。見々の反応が

利用メンバーが新聞に掲載されました！

独自の世界観の持ち主な彼は、ミルクプリンのラベルやハガキを作成している。記事にも書いておるとおり、作風もガラッと変わり彼らしいパワフルな作風になっていった。作品を作成する時の集中力も流石だなあと毎回思わせる。書き終わると必ずと言っていいほど職員や利用者の感想を求める。毎回私も感想を言うのだが「何かガチャガチャしてるね(笑)」と言う。本人は「もっと何か言って」と言うが、私なりの褒め言葉なつもりなのだが本人はよくわかっていないらしい。でも、毎回楽しそうに書いている。しかし、彼の作品の進化は続いていくだろう。私もそうだが、シンフォニーの誰もが毎回楽しみにしているだろう。皆さんによりもっと知っていただけるように頑張りたい。(山岸)

10月31日に利用者である庭田祐亮さんが逝去されました。

彼の為に、利用者が詩を書いてくれました。

天国の同僚へ

まだ・・・私より若いあなた・・・
あまりにも、突然の事で
さよならも・・・言えなかった
最初は、信じられずにいたんだ
だけど・・・沢山の思い出をくれた
お別れの日・・・顔を見たら
突然・・・現実を引き戻された
そして、もう初七日になって
やっと、あなたに、お線香をあげられた。
お母様の話では、
「この子は、山が大好きだったんです。」
初めて、あなたの好きなものをしりました。

サッカーボールでよく遊んでいたこともあった
今年十二月、エグザイルのチケット取れたって喜んでいたのでね・・・
だけど・・・もうお金掛けなくても何処にでもいけるんだよ
行きたい所、沢山行ついでこの世にいる間に・・・
そして未練を残さず旅立つんだ
もし生まれ変わったら
今度は、健康な人になれ
ロジや言えない私からのエール

今日のキモチ

今回から突如始まったこのコーナー利用者で画伯の吉田君がイラストを毎回書いてくれるそうです。初回の作品はこちら！！



〒049-3102

北海道二海郡八雲町東町 273 番地

TEL (0137) 62-4300

FAX (0137) 66-5506

E-mail symphony@yakumo-genkimura.com

<http://www.yakumo-genkimura.com>

※この新聞は利用者が作成しています。